(X) J.A.O'Hanna氏(オハナ) 33才/A (ブタバ) 宮地正伸

(1) 神奈川県出身 ハワイに移住 戦争が侍子ハワイ 1903年12月20日 ホノルル
日本人として初めて帰国

(2) 本題の件について、質問者の印象

「私のみた 岡田夫妻が 実現させた事業 特にカイルアンの事業が我
慰安所建設の指導のトップ又は我々の時代の事業に比べ事業
の内容の説明がない。
主な仕事先、従業者、支店に一般事所、最近「ロハ」工場時数の
他の従業者、生産地 ホノルルが多いとのこと。

(3) 慰安所、その他の接触状況は?

「実況フィルムが良く知るが、我々慰安所ではホノルの日本人や多く我々の事業所
外が違いフィルムの様に事業の目的ではなく、ホノルの日本人又は事業
所が多い。 ロバ - New Leica -

(4) 女性たちの売春の強制はあったか

「44年2月23日 3~4名の日本人がホノルへ来ていると、婦人3~4名
例。並べて。之等の日本人は婦女性1人1人呼び出し、私の指示の下に
現地人の元在調べた。又この際、病気・有無などを後の為全部の写真を撮
り、「Qカード」作成した。(1枚1枚作成) 之等の婦人は、又全部の
思います。之の日本人達は又全ての日本人達の知る者が無
之等婦人は又その日本人のみへ出す様にした事です。会長 Tilleda 氏
記にこの時の日本人には11月の前後が、(1)子へ「何も知らずに来た、
外、事務所が(2)の者の様だ」と云った。
2月26日再び(1)子へ来り10名の婦人を並べたが一名病気だったので
9名が並べた。

Reeders 姉妹	Lies La Nolle
Gertja van Diest	Paula van Battum
Koopal 夫人	Lienny Fonlegri
Corry Rodeltap	不明 (J.A.O'Hanna)

この外に名前は知らないが、数名の婦人がいたが(2)子には
いなかったと云った。この外 金カンプ、大阪の婦人 姉妹がいたが 事の
詳細は知らない。この外に、娘婦の母親もいた。かくの日本人は、オー
ルインは、我々が私服着て我々のオフィスに(1)子へ来ていた。
(1)子へ来り、日本人にしかるべき所で、近ロイ声で 罵言を吐き散々、来ていたが
日本人にしかられ、(1)子へ来り、(1)子へ来り、(1)子へ来り、(1)子へ来り、
ドアに「アルバイト」の札がかかり、一寸でも知った婦人の来れば、「ヒサシ」
「カナリー」と言って、(1)子へ来り、(1)子へ来り、(1)子へ来り、(1)子へ来り、
の名で、数人の婦人が来ていた。この時の一人は、(1)子へ来り、
(1)子へ来り、(1)子へ来り、婦人が来り、(1)子へ来り、
(1)子へ来り、(1)子へ来り、(1)子へ来り、

94

278

同じ班の班長下に次の慰安所まで我々は連れて来られた。
Gerje van Diest,
Lies le Noble,
Koopes 夫人
Bykte Felinks
Elly Jedekerken
Grace Westendorp
其の日の(J.A.O'Harne)

此の7名の下田に連れられた者の、名前の外は「ハズ」の如き事迄書き記入が出来此数が我々と別れ部屋を指定され数分の準備がありたるが日本人は各々が各自の地下ろしたりやうにナッテ居た。しかる後日没我々、下田又もう一人(歳を所望(五名の最年長)、お呼び出され、今日の如く各人別れ、部屋に連れ行かれしが又我々日本人、客のトッテ之と性交の行われたりとの事なり。我々全員之の様にして日本人共の慰みものとされ、もうこれ以上いうてもキリがないトおもう。

3月10日、晩7時半地我々7名が揃よって居ったが私服の男の日本人が7名、下田と一緒に入って来た。此中に軍判所の三橋と野添と名乗るが他の4名の中の一名は和蘭語を話す日本人であった。之等日本人は夫々一名ずつ女を連れて部屋へ引張って行かれた。此處が娼婦の叫び声の様な抵抗の怒号の中に阿鼻叫喚、之等が理由なれど我々は一人一人部屋に引ずり込まれた。私は相手は三橋であった。彼は部屋に入るや否や私の椅子より上に引上げ、嬉しそうに真似をしながら自分の着ものを脱ぎ始めた。私は黙ったまま抵抗も半分諦めの気持ちで彼の成すがままに任せた。彼は全裸体となり自分の寝台の脇に置いた下着より月経の際に用いる為のモノを出し月経帯をはぎとり、私に裏がえしにさせ、後ろより強姦せんとした。私は此の時ほど屈辱を感じた事はなかった。精神が狂人がトウモロコシ畑に入ったかの如く抵抗も出来ずなすがままに任せた。之以外に全く此の上ない屈辱であった。

三橋

扨て隣の他の人々も皆私と同じ様に暴力にて強姦せられたものと思う。

親一人、Elly Jedekerken だけは3時15分ごろかえって来た相手は日本人にて名前は聞かなかった(但し後に解放された)。Lies le Noble の時は泣き叫ぶ様にして Koopes 夫人の部屋に引張り込まれた。二階、廊下に於ても泣き叫び出し、叫ぶ様な声が聞えた。彼女も他の者と部屋に連れ行かれ、日本人が怖い程静かになった。即ち数分間位は交渉にて居たかと思われる。ソレから後は泣き叫ぶ声が聞えた。Westendorp 嬢は日本人2名の為に連れ去られた。彼女は2時間位にて救出された。3月2日の朝の7時頃慰安婦トラックにて迎えに来たが此の時に一晩に3名乃至4名日本人丈の強制はなかった。私自身は5回乃至6回此の類の強制があった。一晩一人以上宛の強制はなかった。我々は絶えず監視の下に置かれて居たので日本人の強制は殆んどなかった。昨日(4月)我々は解放された。44年4月末慰安所、閉鎖せん、5月10日ニューインゲルフ、「ウィルヘルミナ」ホテルに移された。 Alle

㊐ 何故慰安所へ同行されたか?

Alle これ迄の同行の所、何れも我々が揃って行った時、日本人が相手を決めて連れ行かれた。連れられた男の中に我々の男ばかりが集められ全員が慰安所同行の命令を受けた。此の命令は、ほとんどすべての我々に強制されたものと考えられる。拒絶した者へは拷問が加えられた。

95

(12) 慰安所、どんな状況だった？

「木曜日と日曜日の午後と夜は開放され、他の日は軍人のためだった。来た一枚の切符で3階の部屋を購入者は自由な相手の場に性交を行った。
つまり一部が婦人達の時へうとかく我々同人がかわりばんこに並ぶのだった。

(13) 衛生はどうだったか

「食事は極めて悪い。衛生状況も悪く予防具、消毒薬も不充分であった。
幸い Zikel 医師が数人の日本人婦人にゴム製品、洗浄器、リゾール、「ペルマンガン」等他の薬品の供給が入ってくるが、我々大勢の時には洗浄器一つしかない。
日本人へ予防具、使用を命ずるが我々部屋には強制がなかった。
予防具の使用ベット当たりが出荒、ゴム引きの布(ビニール)がこれまで数人に他人の通り
Zikel 医師に依る。

(14) 他の日本人からどのような待遇を受けたか？

「慰安所生活は私には地獄であった。何時も私は客のコマネズミのように働いた。
又或時には私は気狂いと言えるようになり、訳もなく泣き叫んだりした。
私にとっては何をしたかったのか。唯一性欲の強要であった。暴力を使ったりした。
何日、食べない方がよかった。剃刀を持ったりした。他人から同様のことを聞いた。
日本人の中には非常に悪い奴が居る。過激な性交法の強要、私に、その日本人に出会った。

(15) 報酬を一月いくら位だったか？

「我々所、下田一階から帰る時、性交の強要により、其他特別なことをやらなければ
ならなかったが、他、娯楽を一つもしてくれなかった。
勿論、ゼロ振りつくような話である。

(16) 所得を望者から其他に要求のようなことはあったか？

「Jenny Diwan 二人は性病に罹ったが日本人がホルト何時と云う、
我々方に通って来た。私自身、何と惨めな世界へ来たかと思った。
一私らとフランクな人、話が出来ない。彼女に通ずる地方の強制的一面行
へられる人達と行く又性病、日本人の彼女等と性交をしなければならないことである。

(17) 22英花と言う娘はどうか？

「当地の主婦であった。彼はトンでもない悪魔であった。彼は我々に同情し片時も
離れなかった。又毎曜日に彼に診断に来るが、必ず欠かさずやってきた。
何となく小柄、成すに任せる娘であった。一度私に彼に検尿の結果が何も
異常なかった。彼の父親には殺す事も性交の強要も、特に Lieut. と Noble
が一番当番であった。或時には彼に何時も通り彼女に行って来たが
彼女は月経で休んでいるのに拘らず性交の強要であった。
でも、この日の朝、洗面が来ない日は無理に経血の床日でも屍のごとく拘
束されていた。当地に於ける「ホテル」から程近いところである。
Zikel 医師の開業。

(14) 井上医師の供述について

彼との第3回公判廷に於ける証言は、ほぼ同様なものであった。

(15) 此の生活の結果、健康やられた？

私自身、性病にかかったが、後に治癒した。Miss van Hoogstraten は、
淋病に罹った。他の女性が性病に罹ったかどうかは、知らない。
又「コタバリス」「クラコット」等を、婦人が医師の手を経ずして、
購入することは、容易である。

(16) 他の非行、及び日本人について？

松本に依る窃盗が本件（何件か）の外にあった。彼の大部分は、彼の我々
起訴の捜査した。彼に他日本人と共に色々の窃盗を教唆した。或時私は、
仏領の由人ダロウ、ベノサクレトと云う時、一人の日本人に松本と云う名刺を
もらった。彼の種々な名刺があった。之と彼の他の証拠とを総合して考え
ると、他の人の彼に他の悪事に関する現場、或は之の強要等があった。

(17) 証言をした動機、及びその真の目的は何か？

(1) 王国が共産党に対する取締りを厳重にしたので、骨のある人物が
私を非常に面倒がって取り扱った。おかげで私は約10日間
監獄に生活した。若い同志四名が同様の取扱いを受けた。又私は或る
一組、例えば食器を買う場合、必ず2個宛買った。
ソレが或朝、7時頃私の若い者の住所を訪ね、1日～15人、
名のトラックに乗って警察へ来るようにと云った。

(18) 宮地州長官に来たことがあるや？

一度来たことがある。警察が入口の隣の食堂の方へ行った。私は偶然同じ
国の人に依って話しかけた。我々の裁判の為警察が入っているのだと云う
ことを知った。彼は「大変な事が起こった。私のところへ来る人は
彼以外に日本人、慈善家がない。私に用事のある者が、皆一度は
動揺に陥ったことがある。

(8)